

2年目の課題は知名度の向上と利用数のUP!

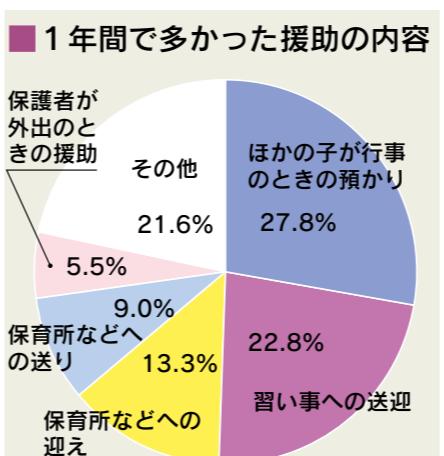


翔大くんのファミ・サポな1日

8月に1歳の誕生日を迎えた翔大くん。ママは看護師です。平日は保育園に預けていますが、日曜出勤もときどきあります。そんなときにセンターを利用しています。翔大くんを預かっているのは鶴さん。これまでに何回も利用しています。ママが鶴さんを選んだのは、事前の打ち合わせで信頼が深まつことと、翔大くんが鶴さんにだっこされても泣かなかつたからだそうです。



2年目の課題は、おねがい会員の増加による援助活動の活性化と話す、コーディネーターの原まやさん（左）と釣崎美由紀さん



アミリー・サポート事業は、保護者が急な残業や急病などのとき、子どもを預かってほしくても、身近に頼める家族や知人がいない場合、有償のボランティアが保護者に代わり子どもを預かる仕組みです。子どもを預けたい人が「おねがい会員」に、子どもを預かる人が「まかせて会員」にそれぞれ会員登録します。今年7月末現在の会員数は、おねがい会員が66人、まかせて会員が45人、どっちも会員が15人、合計126人です。

1年間の活動件数は255件。一番多かった活動内容は、兄姉の学校行事や塾などのときの預かりで71件（27.8%）。次いで塾やスポーツクラブへの送迎が58件（22.8%）、保育所や幼稚園からの迎えと帰宅までの預かり、保育所や幼稚園の登園前の預かりと送りが続きます。

センターを利用したおねがい会員からの意見は「センターができて助かっている」が大半です。一方で、「料金が安ければもっと利用やすい」といった声もあります。また、まかせて会員からは「子どもや孫ができたようで楽しませてもらっている」「自分の育児経験を生かすことができてよかったです」と、こちらも好評です。しかし活動状況は都市部と比較して少ない傾向にあります。まかせて会員に登録しても、活躍する機会がない人にはなげたいとしています。

2年目を迎えた同センターでは、知名度を上げ、おねがい会員を増やし、活動を活性化したい考えです。そのことによって地域で子育てを支援する体制を強化し、育児と仕事が両立できる子育てしやすいまちづくりになげたいとしています。

問い合わせは、同センター（水の郷2階、☎ 74-2027、電子メールfamisapo-402027@city.yanagawa.lg.jp）も。



子育て中のこんな困った！ ありませんか？

- ・育児疲れ リフレッシュしたい
- ・妊婦健診のとき 上の子をみてほしい
- ・大掃除をしたい

こんなときは、
ファミリー・サポート・センターに
☎ 74-2027
ご相談ください。

ファミリー・サポート・センターの利用法

Step1 まずは、おねがい会員登録

ファミリー・サポート・センターは会員制です。センターを利用するには、まず会員登録していただく必要があります。登録料は必要ありませんが、事前にセンターの仕組みを理解していただく必要があります。センターに来所していただき、コーディネーターから30分程度の説明を受けてください。分からないことや心配なこと、要望など何でも聞いていただき、納得したうえでおねがい会員に登録してください。



Step2 まかせて会員さんと打ち合わせ

安心してお子さんを預け、まかせて会員が預かるためにも、事前の打ち合わせが必要です。コーディネーターが、おねがい会員の希望に沿って、まかせて会員を紹介します。まかせて会員の自宅で、お子さんと一緒に時間をかけて打ち合わせください。このときに合いそうにないと感じたら、遠慮しないでセンターに相談してください。

Step3 利用料金の支払い

利用料金は、おねがい会員がまかせて会員に、直接、支払います。1時間当たりの料金は次のとおりです。

利用する曜日・時間	預ける子どもの人数		
	1人	2人	3人
月～土 7:00～19:00	600円	900円	1200円
19:00～21:00	800円	1200円	1600円
日・祝日、お盆、年末年始 7:00～21:00	800円	1200円	1600円